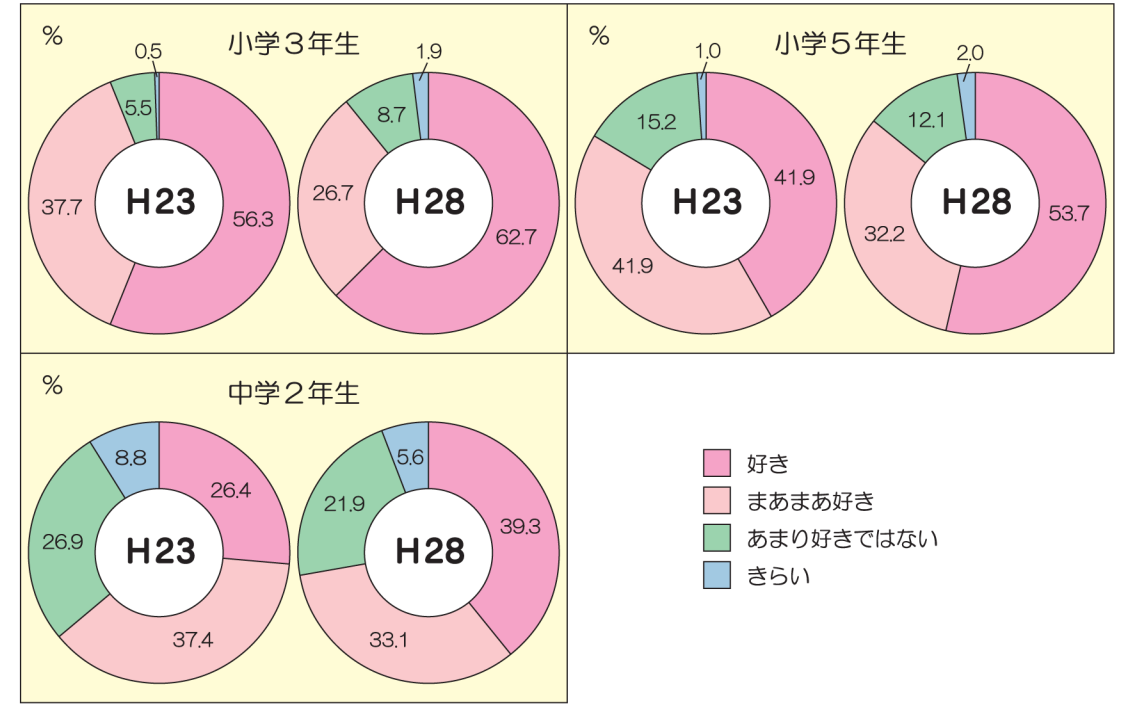


「読書に関するアンケート調査」より
 対象者：町内の小中学校に通う小学3年生 小学5年生 中学2年生
 対象者数：平成23年 579人 平成28年 507人
 回収率：平成23年 96% 平成28年 96%

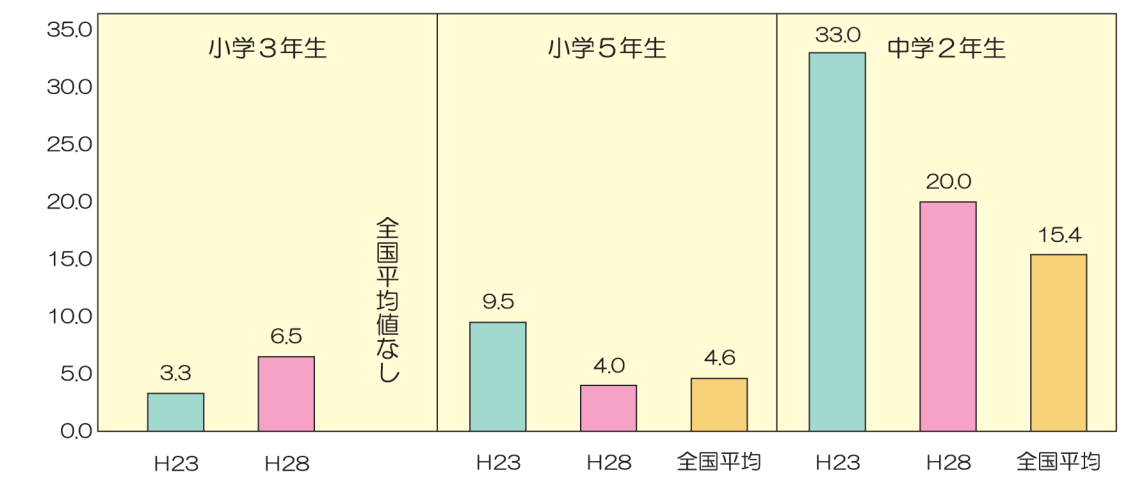
◆ 本を読むのが好きですか。



すべての学年で「好き」と答えた子どもが前回調査と比べて増加しています。特に中学2年生は約13.0ポイント増加しています。

◆ 1か月の間に本を読まなかった割合（不読者割合）

※ 全国平均は「第62回学校読書調査」より
 調査時期：平成28年6月第1・2週 調査対象：小学校4年生～高校3年生



不読者割合は、前回調査と比べて小学校5年生で5.5ポイント、中学2年生で13.0ポイント減少しています。

子どもがいつでも本に 出会える町をめざして

平成29年度 ▶ 平成33年度



子どもが いつでも本に 出会える町をめざして

それぞれの成長の段階で自主的な読書活動ができるように家庭・地域・学校が一体となった取り組みを進め、子どもの読書活動を推進していきます。

本町における子どもの読書活動の施策をまとめた

「第2次みやこ町子ども読書活動推進計画」の詳細は、

図書館ホームページ <http://www.town.miyako.lg.jp/library/top.jsp> でご覧いただけます。

基本方針

- ①家庭・地域・学校において子どもの読書活動を推進します。
- ②子どもの読書活動推進のための環境の整備・充実を図ります。
- ③家庭・地域、図書館、学校等の連携・協力・ネットワーク化を進めます。
- ④子どもの読書活動に関して町民一人ひとりの理解と関心を高めます。

本に出会う

乳児期



大人からの語りかけによって言葉を獲得していく時期です。また読み聞かせによって親子の絆を深めることができます。

本を楽しむ

幼児期



言葉が豊かになり、色々な本に興味を示す時期です。また、本に親しむことで読み聞かせの継続や読書が習慣となっていきます。

本から学ぶ

小学生



文字を覚え、読書の楽しみを知る時期です。また、多くの本を通して課題を解決したり深く考えることができますようになります。

本から考える
創造する

中・高学生



不読者割合の増加する時期です。読書を通じてものの見方や考え方を広げ、人間的成長のきっかけにもつながります。



【ステップ1 ブックス事業】



【移動図書館での貸出】



【図書館見学】



【豊津寺子屋での読み聞かせ】



【小・中学生読書リーダー養成講座】



【職場体験】



毎月23日はみやこ町こども読書の日
子どもといっしょに本をひらいてみませんか？